



マイタイムラインは、大雨や台風などの自然災害から、私たち自身を守るための防災行動計画です。事前に家族の避難計画をまとめておくことで、いざという時にあわてず行動ができます。

わが家の防災活用メモ

家族などの情報を書き込んでおきましょう。また、ハザードマップで自宅周辺の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等、地震の揺れやすさなどを確認し、「自宅周辺の危険区域」に書き込みましょう。

名前	緊急連絡先(会社・学校)	住所	自宅周辺の危険区域	
(父) 長洲 ○○	○○○○-△△-□□□□	長洲町○○○○	洪水	0.5 m
(母) 長洲 ◇◇	○○○○-☆☆-△△△△	長洲町○○○○	土砂災害	あり・なし
(姉) 長洲 □□	○○○○-□□-☆☆☆☆	長洲町○○○○	高潮	3.0~5.0 m
(祖父母) 熊本 △△	△△△-◇◇◇-○○○○	熊本市□□□□	津波	0 m
(親戚) 福岡 ●●	□□□-△△△-◇◇◇◇	福岡市☆☆☆☆	地震	震度 6強 やや弱い

水害のマイタイムライン

総合防災マップの「防災気象情報について」(P.21~22)や「避難について」(P.23~24)を確認して、避難開始するタイミング「避難スイッチ」を決めておきましょう。

作成日: 20XX年 4 月 00 日

平常時の備え

【避難場所】 ◇◇公民館 (20分)

【防災訓練】 ○○地区の 訓練に参加

【防災情報】 町公式LINE、テレビのdボタン、町の防災メール、キキクル、川の防災情報

【避難準備】 裏面の「避難の準備」、総合防災マップの「日頃の備え」(P.19)を確認する。(15分)

【その他】

- ・非常持出品・備蓄品の準備をする。
- ・家具の固定や配置ができていないか確認する。
- ・家族の避難行動や避難場所を確認する。
- ・家の近くの危険区域を確認しておく。

警戒レベル 1

(2~3日前) 早期注意報(警報級の可能性)

- ・気象情報を確認する。
- ・当日の家族の予定を確認する。
- ・非常持出品を確認する。
- ・常備菜の準備をしておく。
- ・風で飛ばされそうな植木鉢を玄関に入れておく。

警戒レベル 2

(前日) 大雨・洪水・高潮注意報/氾濫注意水位

- ・避難場所や避難手段を確認する。
- ・道路や川の状況をインターネットで確認する。
- ・スマホやモバイルバッテリーなどの充電をしておく。
- ・季節に応じた避難の準備をする。(暑さ、寒さ対策等)
- ・親戚に避難予定の連絡をする。
- ・断水に備えて、水の用意をする。

警戒レベル 3

(半日~数時間前) 大雨・洪水警報、(高潮警報に切り替える可能性が高い) 高潮注意報/避難判断水位

高齢者等避難

☑ 避難スイッチ (祖父母)

- ・町外に住んでいる祖父母に逃げなきゃコールをする。
- ・「防災情報くまもと」で近所の浦川の水位を確認する。
- 避難判断水位に到達して、水位が急上昇中なら避難を早める。
- ・祖父母に避難できたか確認する。
- ・家族で避難の準備をする。

警戒レベル 4

(1~2時間程度前) 土砂災害警戒情報、高潮警報、高潮特別警報/氾濫危険水位

避難指示

☑ 避難スイッチ (家族)

- ・近所の□□さんと一緒に◇◇公民館へ歩いて避難する。
- ・土砂災害が起きそうな危険箇所は通らない。
- ・遅くとも夜7時までに避難開始する。
- ・避難完了を祖父母、親戚に連絡する。

警戒レベル 5

(発生後)

大雨特別警報 (災害発生または切迫) 緊急安全確保

★もし、避難できていない場合は、緊急的に安全を確保できる場所や建物の2階以上に移動

長洲町 防災

総合防災マップ

目次

長洲町総合防災マップについて..... 1

ハザードマップについて..... 2

洪水・土砂災害ハザードマップ..... 3-18

日頃の備え..... 19-20

防災気象情報について..... 21-22

避難について..... 23-24

災害について【洪水】..... 25

災害について【土砂災害】..... 26

災害について【高潮・津波】..... 27

災害について【地震】..... 28

避難所一覧..... 29



2022年(令和4年)3月版

※ () 書きの時間は、あくまでおおよその目安です。
 ※警戒レベルは、1~5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

長洲町総合防災マップについて

この長洲町総合防災マップは、町民の皆さんに災害に関する情報を提供し、事前の備えに役立てて頂くことを目的に作成したものです。

災害による被害を最小限に抑えるためには「自助」、「共助」、「公助」の連携が不可欠です。特に、「自助」(自分の命は自分で守る)、「共助」(自分たちの地域は自分たちで守る)という考え方が重要になります。

この総合防災マップを活用し、身の回りの災害危険箇所や避難所、避難経路を確認し、事前の備えに役立ててください。



前回からの主な変更点

浸水想定区域・土砂災害警戒区域等の更新や最新の防災気象情報の見直しに伴い、長洲町総合防災マップを新しく作成しました。

情報面

- 避難を促す情報(5段階の警戒レベル)を掲載
- 避難の考え方やさまざまな避難行動について掲載
- マイタイムラインに関する情報を掲載

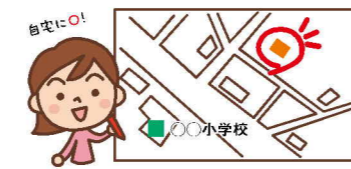
地図面

- 想定最大規模の浸水想定区域(洪水、高潮)を追加
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域を更新

長洲町総合防災マップの使い方

ステップ① 自宅周辺の危険な区域を確認しましょう

各種ハザードマップから、自宅周辺の危険な区域を確認しましょう。自宅が浸水深0.5m以上(床上浸水のおそれ)の区域や、土砂災害警戒区域内に位置している場合は、特に注意が必要になります。



ステップ② 避難所を確認しましょう

自宅から近い避難所を確認しましょう。避難所は、災害の種類や状況によって使用できる場所と使用できない場所があるので、それぞれの災害に対応した避難所を選定してください。



ステップ③ 実際に避難所まで歩いてみましょう

確認した避難所までの道のりを自宅から実際に歩いてみて、危険箇所(転落防止柵がない水路、蓋がない側溝など)や避難にかかる時間を確認しましょう。危険箇所を避けて、なるべく安全な避難経路を選定してください。



ステップ④ マイタイムラインに行動計画を書き込みましょう

ステップ③までを家族で確認したら、マイタイムラインに行動計画を書き込みましょう。詳しくは、裏表紙の記入例またはマイタイムラインの用紙をご確認ください。

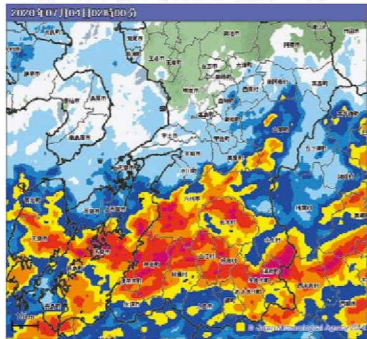
過去の災害

令和2年7月豪雨

7月3日の夜遅くから熊本県南部を中心に線状降水帯が形成され、1日で7月に降る約1か月分の降水量となりました。7月4日朝方にかけての12時間降水量は、熊本県南9地点で観測史上1位を記録しました。

さらに、7月6日から8日未明にかけての断続的な非常に激しい雨により、県北地域でも川の増水、土砂崩れ等を引き起こしました。

7月4日の雨の状況(気象庁より)



状況写真(八代市)



県内の人的被害・住家被害の状況

住家被害	被害棟数	人的被害	人数
全壊	1,491棟	死者	65人
半壊	3,098棟	行方不明者	2人
床上浸水	292棟	重軽傷者	51人
床下浸水	426棟		
一部損壊	2,069棟		

(令和3年3月30日時点)

出典：熊本災害デジタルアーカイブ(提供者：八代市)

熊本地震

平成28年4月14日、16日に発生した熊本地震は、史上類を見ないマグニチュード6.5の前震とマグニチュード7.3の本震の同時発生であったことから、道路、橋梁等のインフラ、災害時の避難所となる学校、公民館等の公共施設、さらには、河川の堤防や急傾斜地の擁壁などに甚大な被害を与えました。

長洲町の震度は、前震：5弱、本震：5強と強い揺れを観測しました。地震による家屋などの被害はあったものの、幸い大きな被害は発生しませんでした。

熊本地震地図

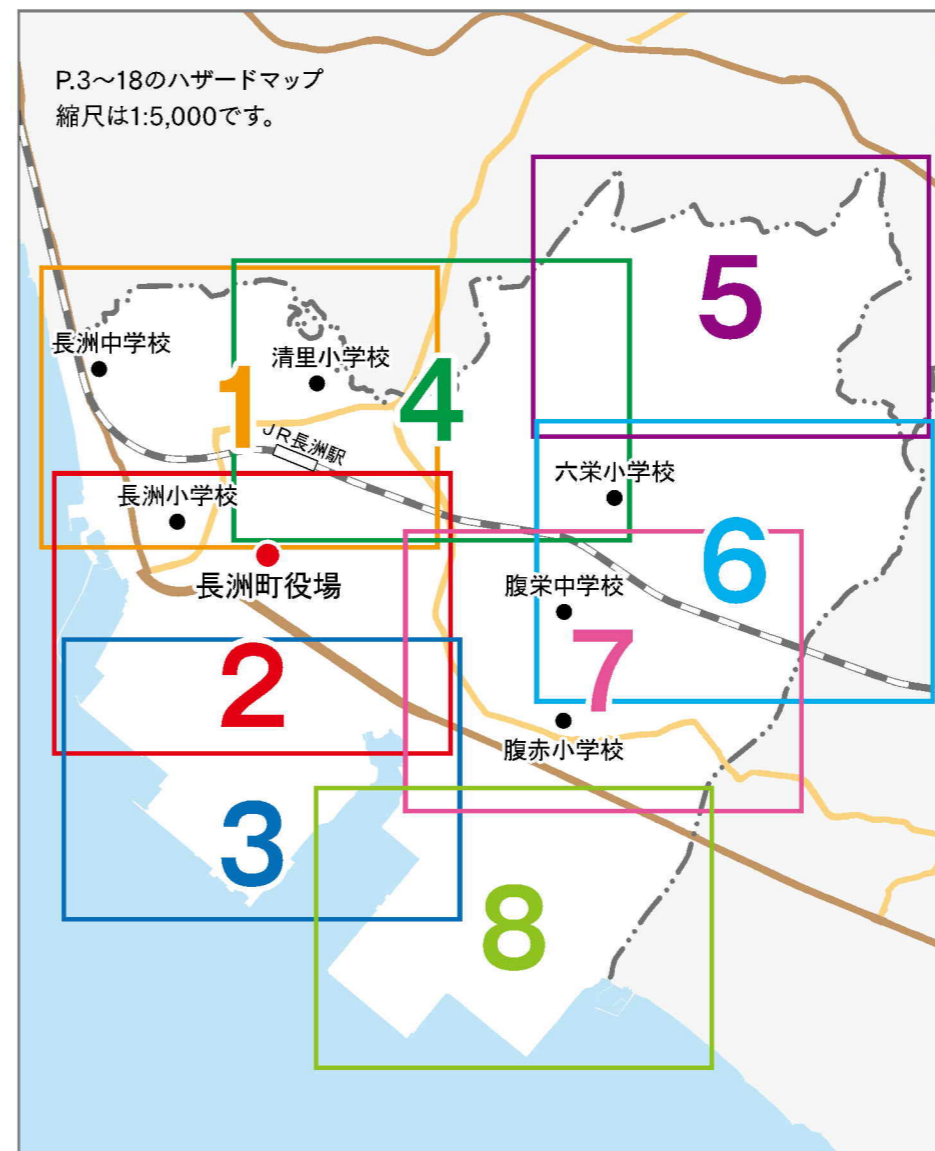


出典：熊本災害デジタルアーカイブ

ハザードマップについて

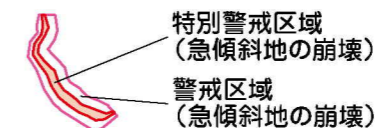
洪水・土砂災害ハザードマップ P.3~18 大判マップ

マップ区割図



土砂災害警戒区域・特別警戒区域

熊本県が令和4年3月現在で告示している土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています(一部指定予定の区域を含みます)。



高潮ハザードマップ 大判マップ

熊本県が令和3年11月に作成した、最大クラスの台風に伴う高潮が発生したときの高潮浸水想定区域を地図上に示しています。高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、台風の強さと経路を複数設定してシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを地図上に示しています。

津波ハザードマップ 大判マップ

熊本県が平成25年3月に作成した、最大クラスの津波が最悪の条件下において発生したときの津波浸水想定区域を地図上に示しています。また、1792年の「眉山崩壊による大津波」の到達実績として、過去の記述資料等を基に、標高8mのラインを着色して地図上に示しています。

地震ハザードマップ 大判マップ

長洲町が平成25年度に作成した、雲仙断層帯でマグニチュード7.6の地震が発生したときの「揺れやすさマップ」、「危険度マップ」をそれぞれ地図上に示しています。

高潮ハザードマップ、津波ハザードマップ、地震ハザードマップの詳細な説明は、大判マップをご確認ください。

洪水浸水想定区域

想定最大規模の大雨に伴う洪水によって河川が氾濫した場合の浸水範囲と深さを地図上に示しています。

対象河川	前提となる降雨(想定最大規模)	作成主体と作成年月
浦川水系 浦川	浦川流域の8時間雨量730mm	熊本県 土木部河川課 令和2年3月
菜切川水系 菜切川	菜切川流域の8時間雨量723mm	
行末川水系 行末川(水位周知区間)	行末川流域の8時間雨量714mm	
宮崎川水系 宮崎川	流域全体に8時間の総雨量723mm	熊本県 土木部河川課 令和3年10月
行末川水系 行末川(水位周知区間外)	流域全体に8時間の総雨量714mm	
行末川水系 今泉川		
行末川水系 友田川		

家屋倒壊等氾濫想定区域

水位周知河川(浦川、菜切川、行末川)における想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに検討しています。

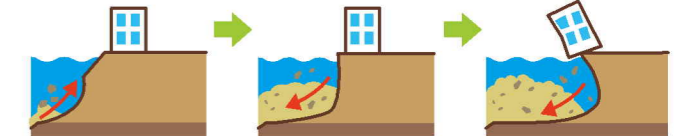
氾濫流による家屋倒壊等

堤防決壊などによる氾濫流によって木造家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。

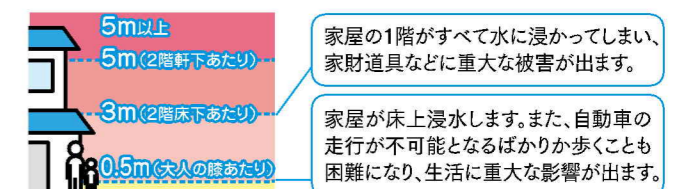


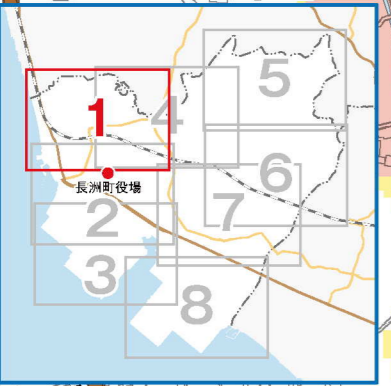
河岸侵食による家屋倒壊等

洪水時の河岸侵食によって、木造・非木造家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。



浸水の深さ(洪水)





● **洪水・土砂災害ハザードマップについて**

このハザードマップでは、想定最大規模の大雨によって町内の主要河川が氾濫した場合に想定される洪水浸水想定区域、実際に浸水が発生した実績箇所、土砂災害が発生するおそれのある危険区域と、災害が発生した場合の避難場所を地図上に示しています。

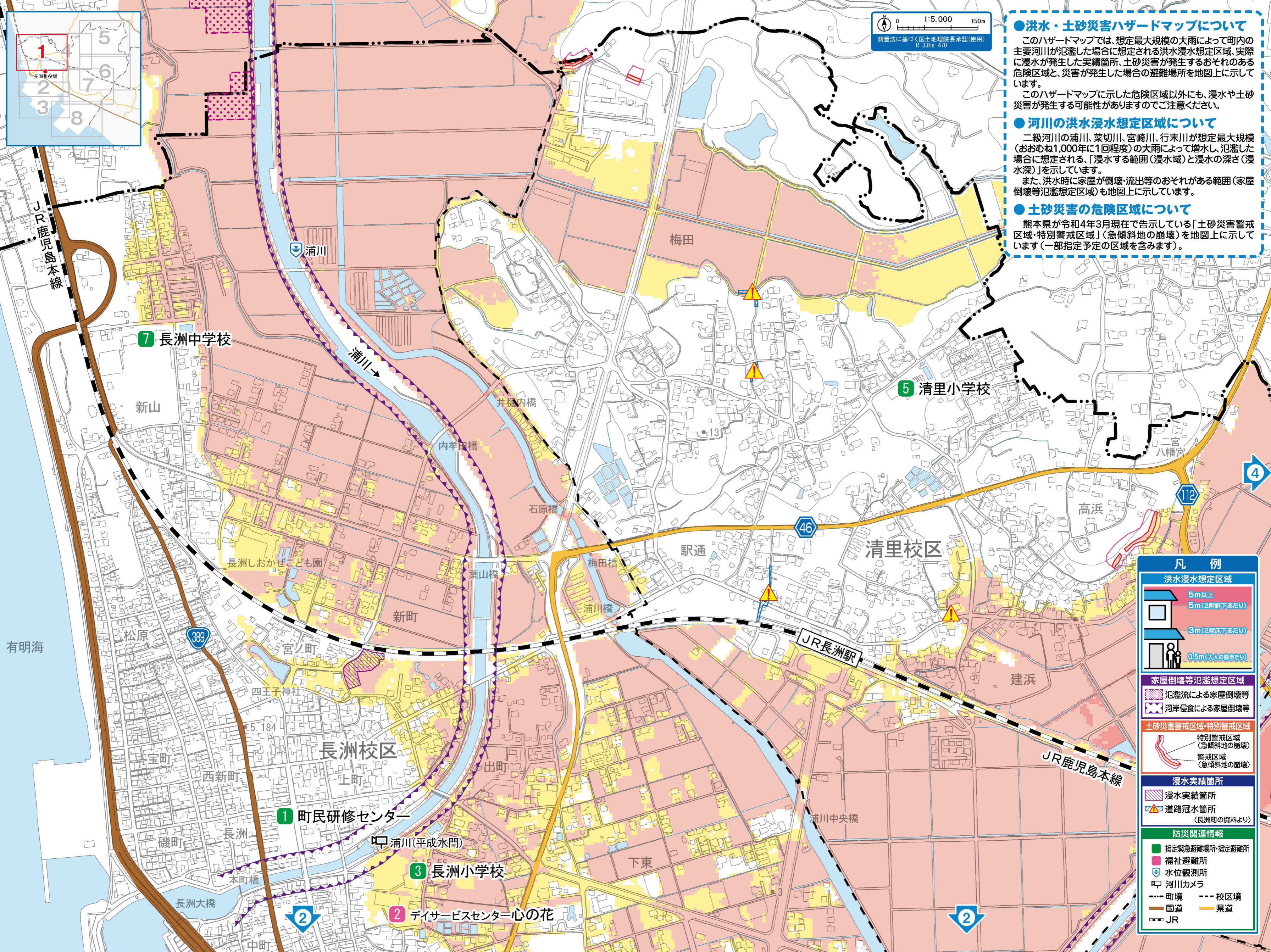
このハザードマップに示した危険区域以外にも、浸水や土砂災害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

● **河川の洪水浸水想定区域について**

二級河川の浦川、菜切川、宮崎川、行末川が想定最大規模(おおむね1,000年に1回程度)の大雨によって増水し、氾濫した場合に想定される、「浸水する範囲(浸水域)と浸水の深さ(浸水深)」を示しています。
また、洪水時に家屋が倒壊・流出等のおそれがある範囲(家屋倒壊等氾濫想定区域)も地図上に示しています。

● **土砂災害の危険区域について**

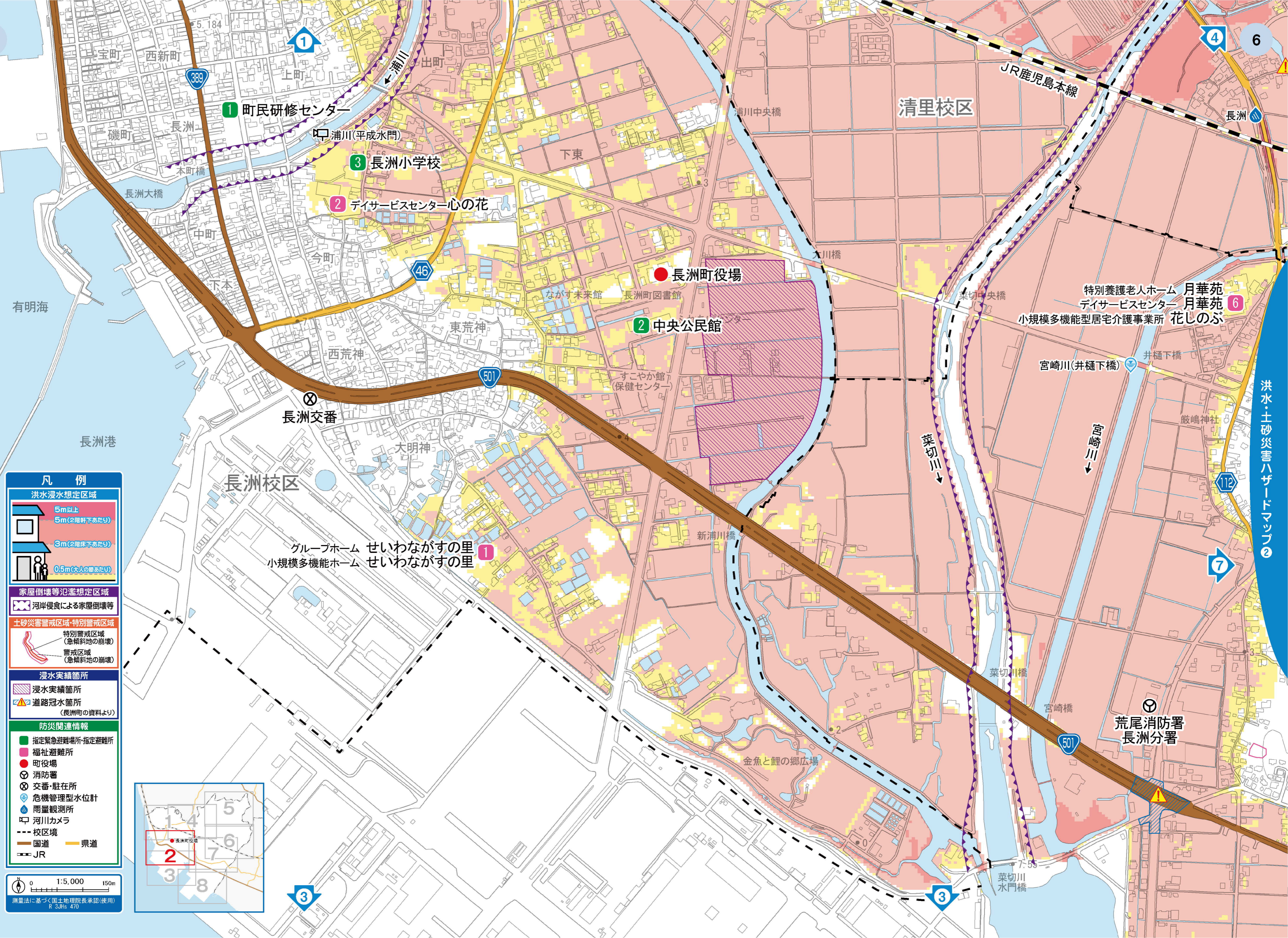
熊本県が令和4年3月現在で告示している「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」(急傾斜地の崩壊)を地図上に示しています(一部指定予定の区域を含みます)。



凡例

- 洪水浸水想定区域
 - 5m以上
 - 5m(2階軒下あたり)
 - 3m(2階床下あたり)
 - 0.5m(大人の膝あたり)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
 - 氾濫流による家屋倒壊等
 - 河岸侵食による家屋倒壊等
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域
 - 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
 - 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 浸水実績箇所
 - 浸水実績箇所
 - 道路冠水箇所(長洲町の資料より)
- 防災関連情報
 - 指定緊急避難場所・指定避難所
 - 福祉避難所
 - 水位観測所
 - 河川カメラ
 - 町境
 - 校区境
 - 国道
 - 県道
 - JR

有明海



凡例

洪水浸水想定区域

- 5m以上 (2階軒下あたり)
- 3m (2階床下あたり)
- 0.5m (大人の膝あたり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食による家屋倒壊等

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

- 特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域 (急傾斜地の崩壊)

浸水実績箇所

- 浸水実績箇所
- 道路冠水箇所 (長洲町の資料より)

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 町役場
- 消防署
- 交番・駐在所
- 危機管理型水位計
- 雨量観測所
- 河川カメラ
- 校区境
- 国道
- 県道
- JR

0 1:5,000 150m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R.3.JHs.470



1 町民研修センター

3 長洲小学校

2 デイサービスセンター心の花

● 長洲町役場

2 中央公民館

特別養護老人ホーム 月華苑
デイサービスセンター 月華苑
小規模多機能型居宅介護事業所 花しのぶ

グループホーム せいわながすの里 1
小規模多機能ホーム せいわながすの里 1

荒尾消防署
長洲分署

清里校区

長洲校区

JR鹿児島本線

389

46

501

501

112

長洲大橋

本町橋

長洲

西新町

宝町

5.184

浦川(平成水門)

出町

上町

1

下東

浦川中央橋

大川橋

菜切川

菜切中央橋

井樋下橋

宮崎川(井樋下橋)

宮崎川

菜切川

菜切川橋

宮崎橋

金魚と鯉の郷広場

菜切川水門橋

7-55

3

3

7

6

4

5

8

7

6

5

4

3

2

1

8

7

6

5

4

3

2

1

長洲校区

腹赤校区

荒尾消防署
長洲分署

金魚と鯉の郷広場

菜切川橋

宮崎橋

菜切川

菜切川
水門橋

健康福祉
センター

総合スポーツ
センター

姫ヶ浦

有明

有明海

有明海

凡例

洪水浸水想定区域

- 5m以上
5m(2階軒下あたり)
- 3m(2階床下あたり)
- 0.5m(大人の膝あたり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食による家屋倒壊等

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

- 特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域
(急傾斜地の崩壊)

浸水実績箇所

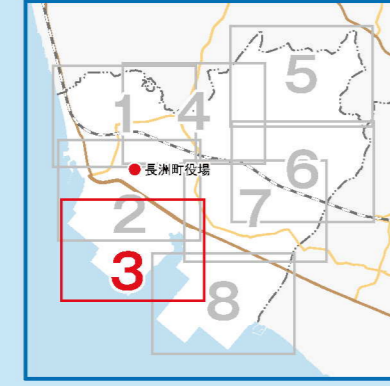
道路冠水箇所
(長洲町の資料より)

防災関連情報

- 消防署
- 校区境
- 国道
- 県道



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)
R 3JHs 470

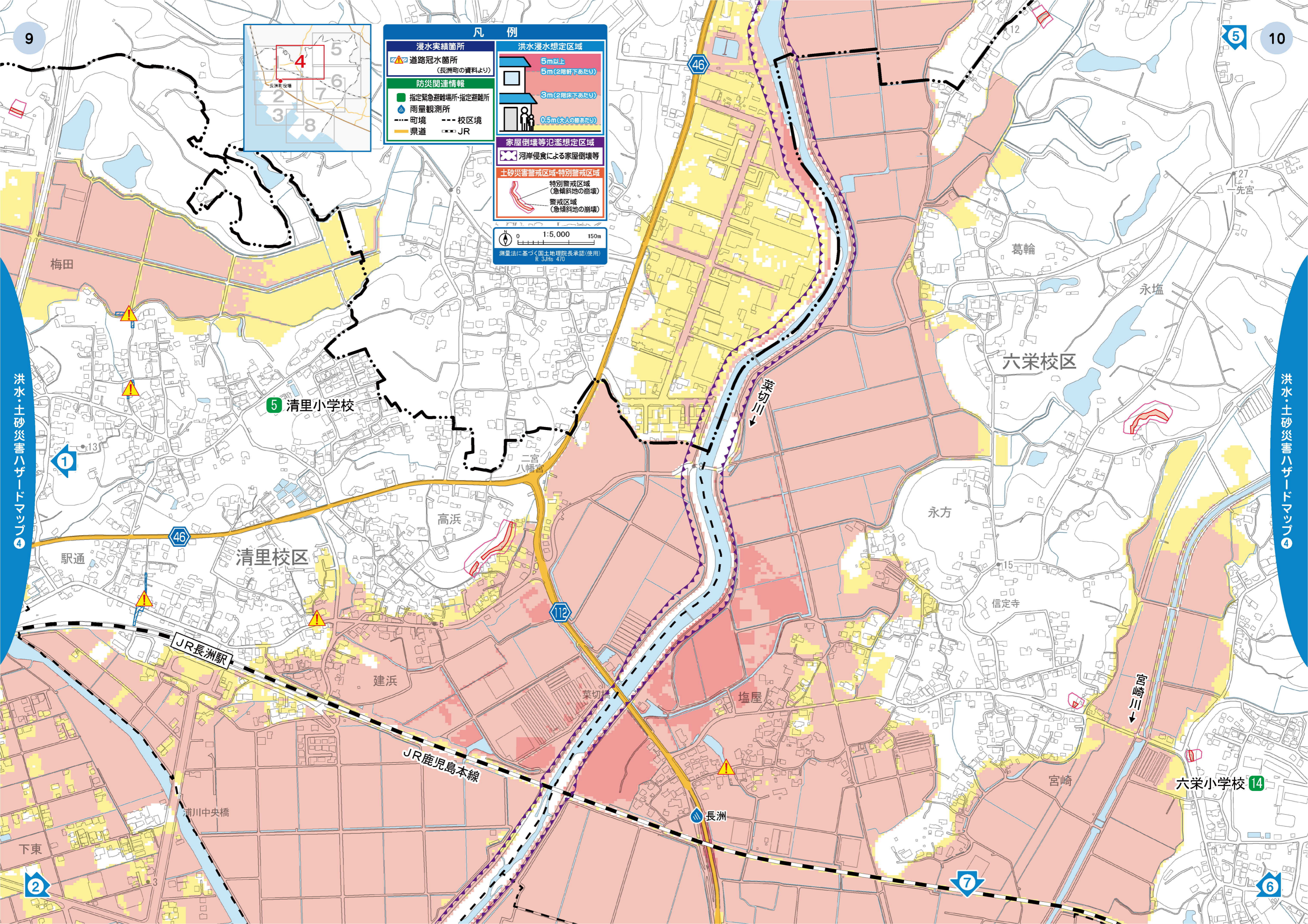




凡 例

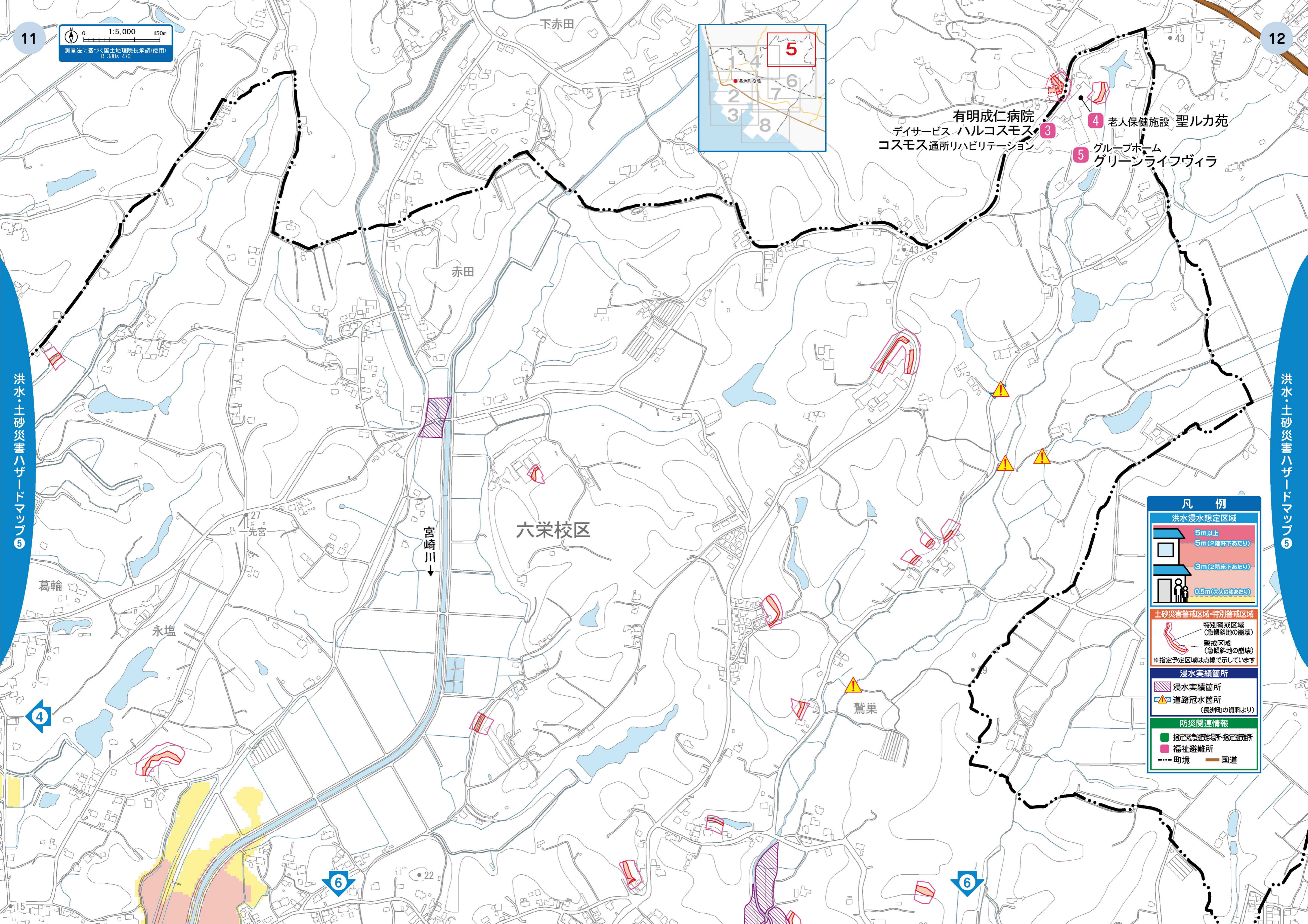
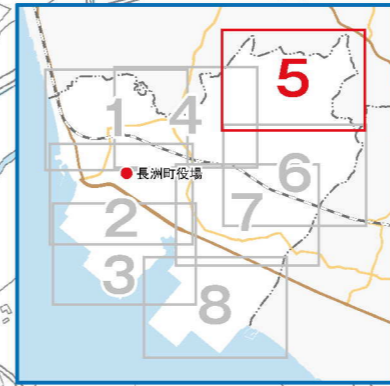
浸水実績箇所 道路冠水箇所 (長洲町の資料より)	洪水浸水想定区域 5m以上 5m(2階軒下あたり)
防災関連情報 指定緊急避難場所・指定避難所	3m(2階床下あたり)
雨量観測所	0.5m(大人の腰あたり)
町境	家屋倒壊等氾濫想定区域
県道	河岸侵食による家屋倒壊等
JR	土砂災害警戒区域・特別警戒区域
	特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	警戒区域(急傾斜地の崩壊)

0 1:5,000 150m
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 3JIS 470



洪水・土砂災害ハザードマップ④

洪水・土砂災害ハザードマップ④



洪水・土砂災害ハザードマップ⑤

洪水・土砂災害ハザードマップ⑤

凡例

洪水浸水想定区域

- 5m以上
- 5m(2階床下あたり)
- 3m(2階床下あたり)
- 0.5m(大人の膝あたり)

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- ※指定予定区域は点線で示しています

浸水実績箇所

- 浸水実績箇所
- 道路冠水箇所(長洲町の資料より)

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 福祉避難所
- 町境
- 国道

下赤田

赤田

六栄校区

宮崎川

鷺巣

6

6

4

15

22

27 先宮

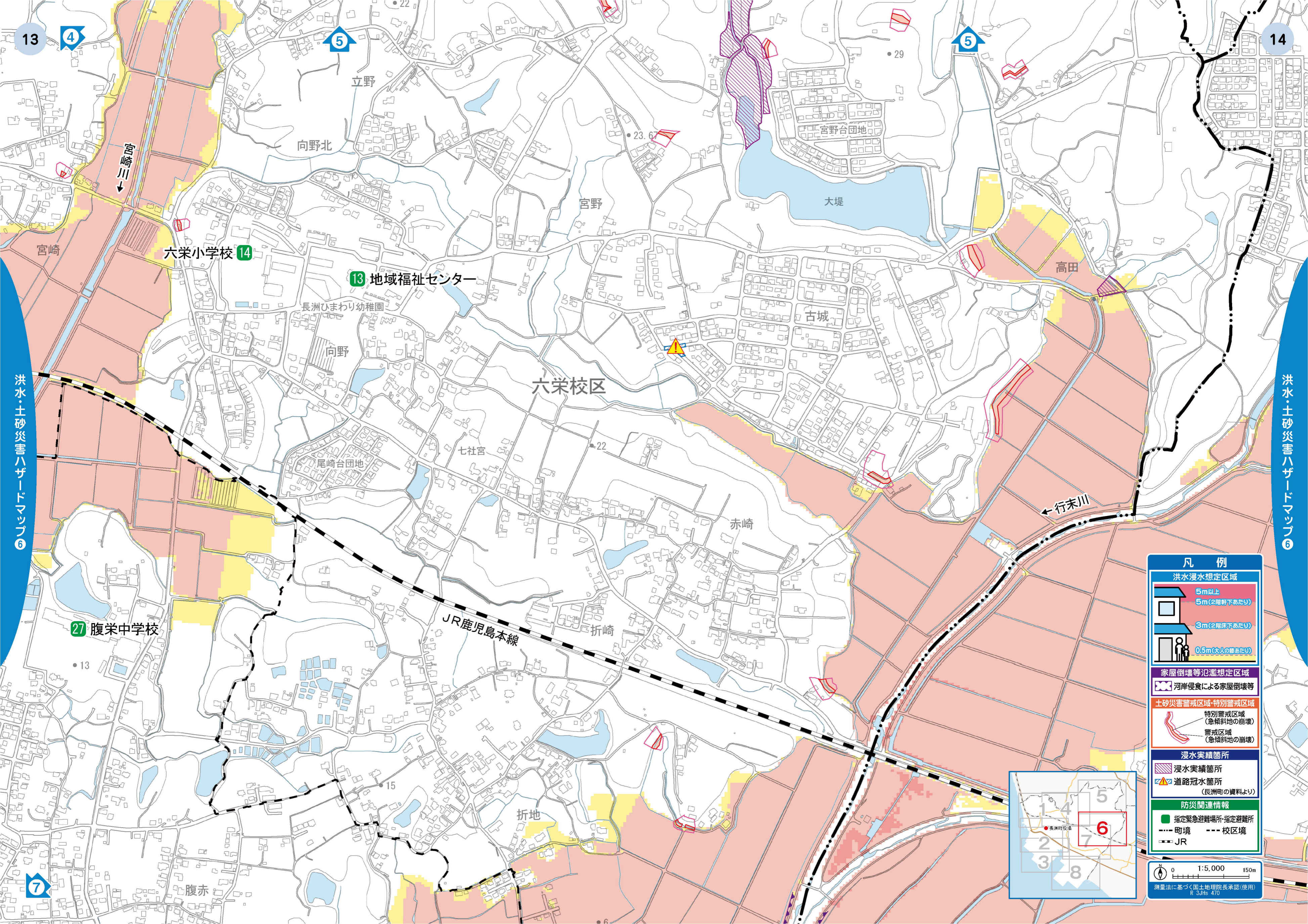
永塩

葛輪

有明成仁病院
 デイサービス ハルコスモス
 コスモス通所リハビリテーション

4 老人保健施設 聖ルカ苑

5 グループホーム グリーンライフヴィラ



洪水・土砂災害ハザードマップ⑥

洪水・土砂災害ハザードマップ⑥

凡例

洪水浸水想定区域

- 5m以上
- 5m(2階軒下あたり)
- 3m(2階床下あたり)
- 0.5m(大人の膝あたり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食による家屋倒壊等

土砂災害警戒区域-特別警戒区域

- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)

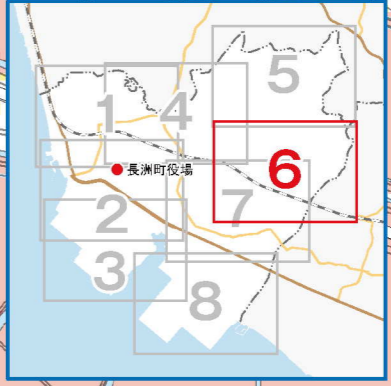
浸水実績箇所

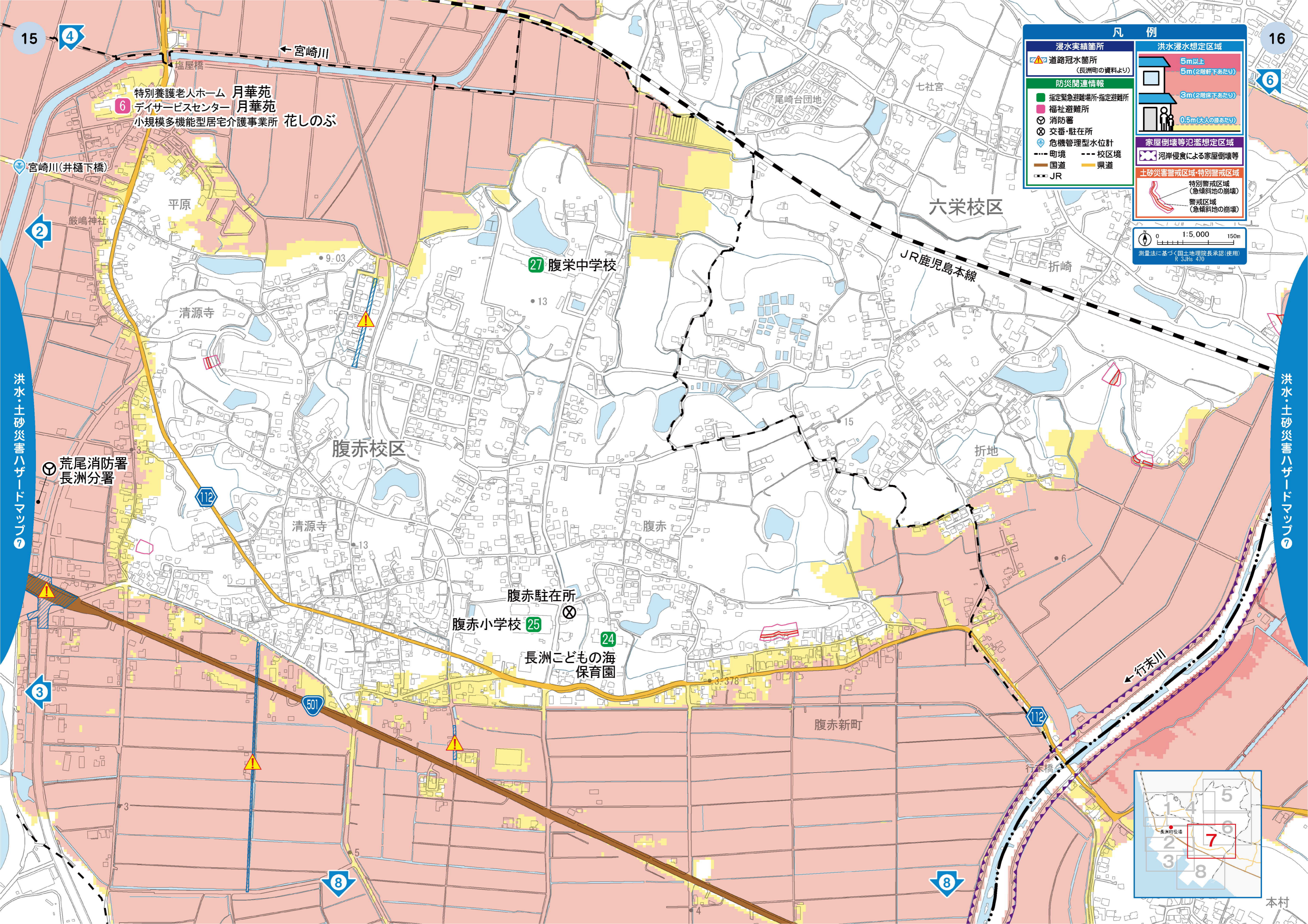
- 浸水実績箇所
- 道路冠水箇所(長洲町の資料より)

防災関連情報

- 指定緊急避難場所-指定避難所
- 町境
- 校区境
- JR

0 1:5,000 150m
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R.3JHs 470

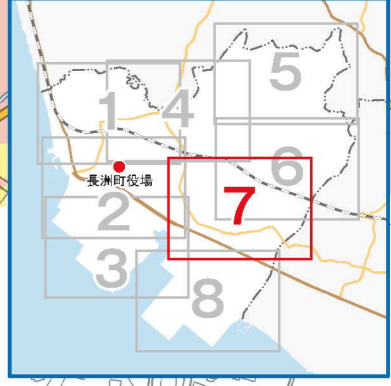




凡例

浸水実績箇所 道路冠水箇所 (長洲町の資料より)	洪水浸水想定区域
防災関連情報	5m以上
指定緊急避難場所・指定避難所	5m(2階軒下あたり)
福祉避難所	3m(2階床下あたり)
消防署	0.5m(大人の背あたり)
交番・駐在所	家屋倒壊等氾濫想定区域
危機管理型水位計	河岸侵食による家屋倒壊等
町境	土砂災害警戒区域・特別警戒区域
校区境	特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
国道	警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
JR	

0 1:5,000 150m
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 3Jis 470



15

16

2

6

3

8

8

特別養護老人ホーム 月華苑
デイサービスセンター 月華苑
小規模多機能型居宅介護事業所 花しのぶ

27 腹栄中学校

25 腹赤小学校

24 長洲こどもの海
保育園

六栄校区

腹赤校区

腹赤新町

平原

清源寺

清源寺

腹赤

折地

行末川

宮崎川

塩屋橋

宮崎川(井樋下橋)

敵鳴神社

JR鹿児島本線

折崎

荒尾消防署
長洲分署

112

501

112

洪水・土砂災害ハザードマップ⑦

洪水・土砂災害ハザードマップ⑦

本村

健康福祉センター
総合スポーツセンター

姫ヶ浦

有明海

腹赤校区

上沖洲

名石神社

新川水門橋

行末川

行末川

新行末橋

岱明町下沖洲

名石浜工業団地

名石浜

有明海

凡例

洪水浸水想定区域

- 5m以上
- 5m(2階軒下あたり)
- 3m(2階床下あたり)
- 0.5m(大人の膝あたり)

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食による家屋倒壊等

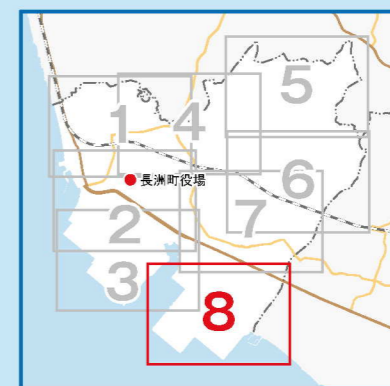
浸水実績箇所

- 浸水実績箇所
- 道路冠水箇所 (長洲町の資料より)

防災関連情報

- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 水位観測所
- 河川カメラ
- 町境
- 校区境
- 国道

0 1:5,000 150m
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 3JHs 470



家族で話し合ひましょう

災害の危険性や避難行動について、家族で話し合うことが大切です。災害に備えて、家族で防災会議をしましょう。

話し合ひたい項目

- 自宅周辺の危険な区域の確認
- 災害が起こった時の身の守り方
- 家族間の連絡方法と、最終的に出会う場所
- 災害別の避難行動
避難場所とそこへ行く経路。
- 家族一人ひとりの役割分担
家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、避難経路の確保、隣近所への連絡など。
※人の助けがなければ避難することのできない方がいる家庭やペットを飼っている家庭は、その避難方法も話し合ひましょう。

日頃から心掛ける項目

- 家中、家の周りの安全対策
家具が倒れないよう固定具を準備しましょう。また、家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸などは傷んでいないか確認しましょう。
- 天気予報や気象情報に気をつける
梅雨時期、台風時期など、災害が起こりやすい時期は、テレビ・ラジオ・新聞などの気象情報に注意しましょう。
- 非常持出品・備蓄品を準備しておく
非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの(缶詰やレトルト食品など)を選びましょう。アレルギー対応の非常食やペット用の非常食など、家族構成に合わせて準備しましょう。
また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに準備しておきましょう。

非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品 必要最小限にまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

- | | |
|--|--|
| 携帯ラジオ | 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意) |
| <input type="checkbox"/> 電池(多めに用意) | |
| 非常食など | 救急用品 |
| <input type="checkbox"/> 非常用食品 | <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> ばんそうこう |
| <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター | <input type="checkbox"/> キズ薬 <input type="checkbox"/> おくすり手帳 |
| <input type="checkbox"/> 缶切り | |
| <input type="checkbox"/> 栓抜き | 感染症対策 |
| <input type="checkbox"/> 水筒 | <input type="checkbox"/> 手指消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 紙皿 | |
| <input type="checkbox"/> 紙コップ | その他 |
| 貴重品 | <input type="checkbox"/> 衣類・タオル <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| <input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 免許証 | <input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> ライター |
| <input type="checkbox"/> 通帳 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード | <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 雨具 |
| <input type="checkbox"/> 印鑑 | <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> スリッパ |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 権利証書 | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 笛 |
| | <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 |
| | <input type="checkbox"/> 防災マップ(本書) |



非常備蓄品 最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|--|
| 非常食など | 調理器具など | その他 |
| <input type="checkbox"/> アルファ米 | <input type="checkbox"/> 卓上コンロ | <input type="checkbox"/> 衣類・毛布 |
| <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 | <input type="checkbox"/> ガスボンベ | <input type="checkbox"/> LEDランタン |
| <input type="checkbox"/> ドライフーズ・飴など | <input type="checkbox"/> 固形燃料 | <input type="checkbox"/> 各種アウトドア用品 |
| <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター | <input type="checkbox"/> なべ・やかん | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ・消臭スプレー |
| (1日1人3リットルが目安) | | <input type="checkbox"/> 洗面用具・ドライシャンプーなど |
| | | <input type="checkbox"/> ビニール袋 |

家族構成に合わせた準備

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。



ローリングストック法

保管している非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「消費しながら備蓄する」ということができます。



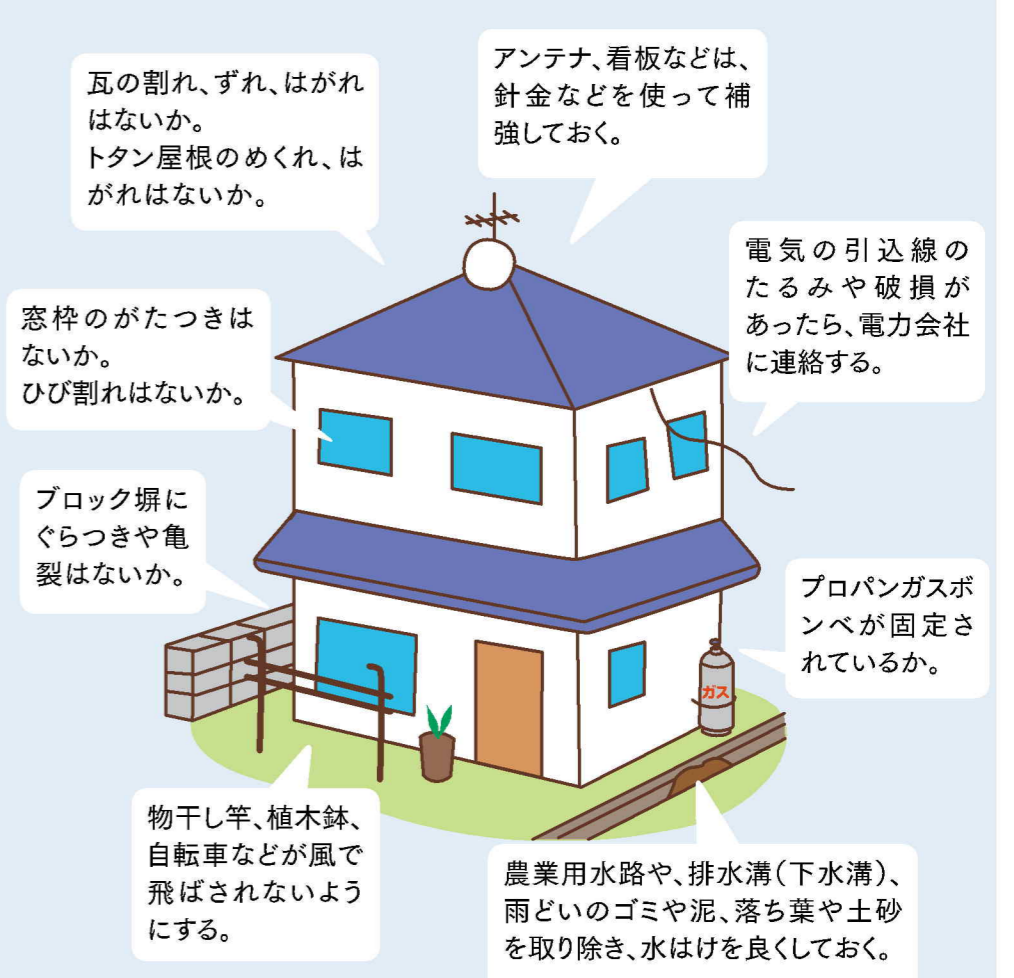
我が家の安全対策

安全と思われる家の中や家の周りでも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすおそれがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

家の中の安全対策

- 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。
- 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。
- 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。
- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。
- 重い荷物は高い所に置かず、床に置いておく。
- タコ足配線やコードを束ねて使用しない。
- 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

家の周りの安全対策



自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

平常時の活動

作ろう、参加しよう、育てよう!

大きな災害では、行政や関係機関の対応に時間がかかることがあります。また、個人や家族の力だけでは限界があります。日頃から付き合いのある隣組や行政区などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。



みんなで学ぼう!

防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。災害が起こったときに予想される事態や対応について話し合ひましょう。



地域を点検しよう!

地域の皆さんで事前に確認しましょう。
・消火栓や防火水槽の近くに、違法駐車や放置自転車などの障害物はありませんか?
・避難場所を皆さんが知っていますか?
・避難経路に危険な場所はありますか?



訓練をしよう!

いつ災害が発生しても対応できるように、必要な知識や技術を習得しましょう。
・消火器の使い方
・心肺蘇生法(人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDの使用方法)



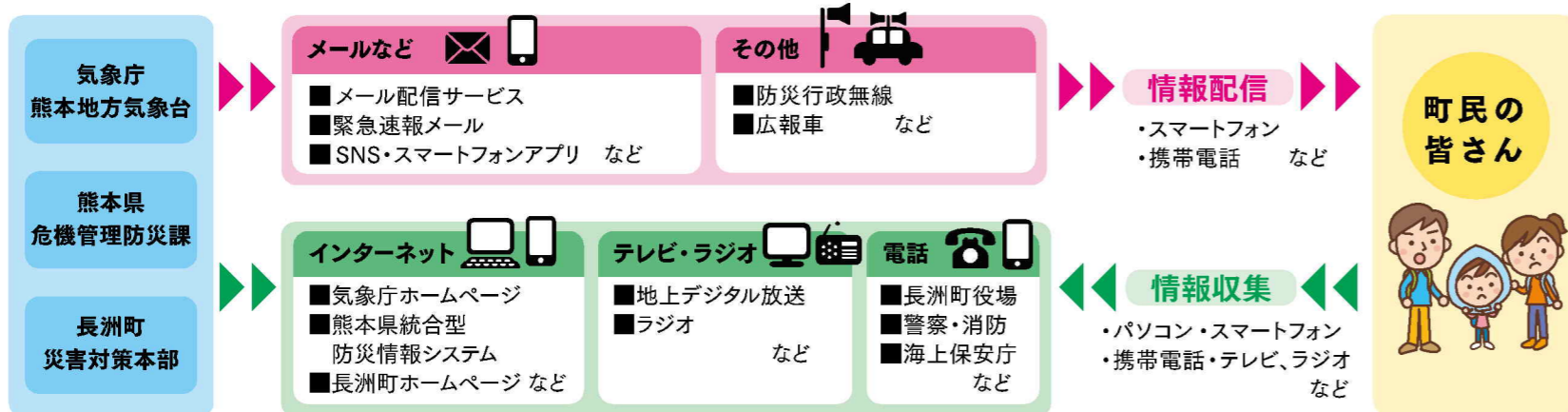
災害時の活動

- 初期消火活動** 身の安全を第一に考え、消火器などを用いた初期消火の実施
- 避難誘導支援** 高齢者や障がいをお持ちの方々などへの避難誘導の支援
- 救出・救護活動** まず身の安全を確保し、その後被災者の救出や救護活動の支援
- 情報の収集・伝達** 地域内の被害状況や必要な情報の収集、および地域・役場への伝達
- 避難所運営の支援** 水や食料などの配給支援や炊き出しなどの避難所運営支援



情報の種類と伝達経路

町では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときは『災害対策本部』を設置し、対応します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、『避難情報』を発表します。避難情報と周囲の状況に注意して行動しましょう。



避難を促す情報(5段階の警戒レベル)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 または切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1 【町が発令】

<警戒レベル4までに必ず避難!>

4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 【町が発令】
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難 【町が発令】
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報・洪水注意報 【気象庁が発表】
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 【気象庁が発表】

※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の方も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたりしたら自主的に避難するタイミングです。
 (注)警戒レベルは、1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル3や警戒レベル4の段階で、地域の皆さんで声をかけあって、確実に安全な場所に避難しましょう。

長洲町からの情報

町LINE公式アカウントからの情報

町の行政情報、防災情報などさまざまな情報を町から通知してお知らせしています。QRコードまたは、ID検索から“友達登録”ができます。

ID: @nagasutown

※町からのメッセージに対する返信はできませんので、ご了承ください。



携帯電話用QRコード

防災行政無線の放送内容の確認

0800-200-1244(無料)

町では、防災行政無線を22か所設置し、防災情報やさまざまな行政情報について放送しています。風雨や地形などの影響により放送が聞き取りにくい場合は、こちらの番号で放送内容を確認することができます。

Yahoo!防災速報

Yahoo!防災速報

<https://www.town.nagasu.lg.jp/bousai/kij0037364/index.html>



携帯電話用QRコード

テレビからの情報

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの『d』ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。



メールからの情報

長洲町防災メール配信サービス

町や消防本部が提供した情報をメールで配信するサービスです。長洲町防災行政無線からの放送は、強風や雨などの気象条件などに影響されやすいため、地域によっては聞き取りにくい場合があります。ぜひ登録をお願いします。

配信する情報 火災、災害情報、緊急情報など

登録方法 次のアドレスまたは右のQRコードから空メールを送信してください。登録用サイトのアドレスが添付されたメールが届きますので、必要な情報(お住まいの地域(町内町外)、配信種別)を入力し送信すると登録完了です。

bousai.nagasu-town@raidan.ktaiwork.jp

※迷惑メール対策等を設定されている方は、ドメイン「ktaiwork.jp」からのメール受信を許可してください。詳しくは、携帯電話通信会社のホームページまたはサービスショップにご相談ください。



携帯電話用QRコード

安心安全・地域情報メール配信システム 愛情ねっと

「愛情ねっと」は、登録した利用者等に対して主に大牟田・荒尾地域の防犯・防災等の情報、その他様々な行政情報等をメールでお知らせします。

- 登録方法
- 下記のURLもしくはQRコードから登録ページへアクセスしてください。
 パソコン <http://ai-jo.net/Community/>
 携帯電話 <http://ai-jo.net/Community/mobile/>
 - “新規登録”から空メールを送信してください。
 返信されたメールから、本文の内容に従い登録用の画面を開いてください。
 受信を行いたいカテゴリーを選択し、“登録”ボタンを押してください。
 - 登録完了メールが届きます。

その他

- 登録方法①のページから、内容(配信カテゴリー)の変更や配信停止を行うことができます。
- 登録は無料ですが、通信料は利用者負担となります。
- メールアドレスの変更があった際は、“新規登録”から再度登録をお願いします。



携帯電話用QRコード

緊急速報メール

気象庁が配信する情報、町が発信する避難情報を、特定地域内のスマートフォン・携帯端末に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している方も受信できます。(登録不要、受信料無料ですが、受信設定については各携帯電話会社Webサイトをご確認ください。)



インターネットからの情報

防災情報くまもと

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp>



国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>



熊本県統合型防災情報システム

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>



気象庁 ホームページ

<https://www.jma.go.jp/>



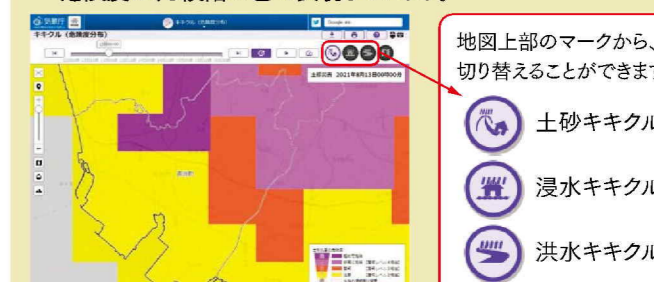
熊本県 土砂災害情報マップ

<http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/website/sabo/kui/>



キキクル(危険度分布)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk>
 大雨による洪水、浸水害、土砂災害の危険度の高まりを地図上で確認できます。危険度は、5段階の色で表現しています。



- 地図上部のマークから、切り替えることができます。
- 土砂キキクル
 - 浸水キキクル
 - 洪水キキクル

避難の考え方(避難行動判定フロー)

「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自宅周辺の災害の危険性やとるべき行動を日頃から確認しておきましょう。

ハザードマップで自宅の位置を確認し、印をつけましょう。
※地図の精度によって自宅の位置が正確でない場合があります。



自宅がある場所に危険区域の色(洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域など)が塗られていますか?

いいえ

原則として避難する必要はありませんが、色が塗られていなくても、災害の危険性について調査・解析されていない地域の場合もあります。
川沿いにお住まいの方や、がけのそばにお住まいの方などは、防災気象情報や町からの避難情報に注意し、必要に応じて避難してください。



災害発生の危険があるので、**原則として立ち退き避難**(自宅以外の安全な場所へ避難)してください。



ご自身または一緒に避難する方の中で、避難に時間を要する方(高齢者、障がいをお持ちの方、乳幼児など)はいますか?



安全な場所(危険区域の色が塗られていない場所)に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか?

いいえ

※すでに災害が発生している場合や、夜間の場合など、危険な状況の中で自宅の外へ避難するのがかえって危険だと感じたときは、危険な場所(川やがけ)からなるべく離れた場所にとどまって命を守る行動(屋内安全確保)をとってください。



※洪水の危険があっても、家の中で浸水深よりも高い場所に避難できるなどの条件を満たしていれば、**屋内安全確保**(在宅避難)も可能です。

安全な場所(危険区域の色が塗られていない場所)に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか?



警戒レベル3

の避難情報が出たら、**安全な親戚宅や知人宅**に避難してください。
※日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル3

の避難情報が出たら、**町が開設した避難場所**に避難してください。
※町からの情報に注意しましょう。

警戒レベル4

の避難情報が出たら、**安全な親戚宅や知人宅**に避難してください。
※日頃から相談しておきましょう。

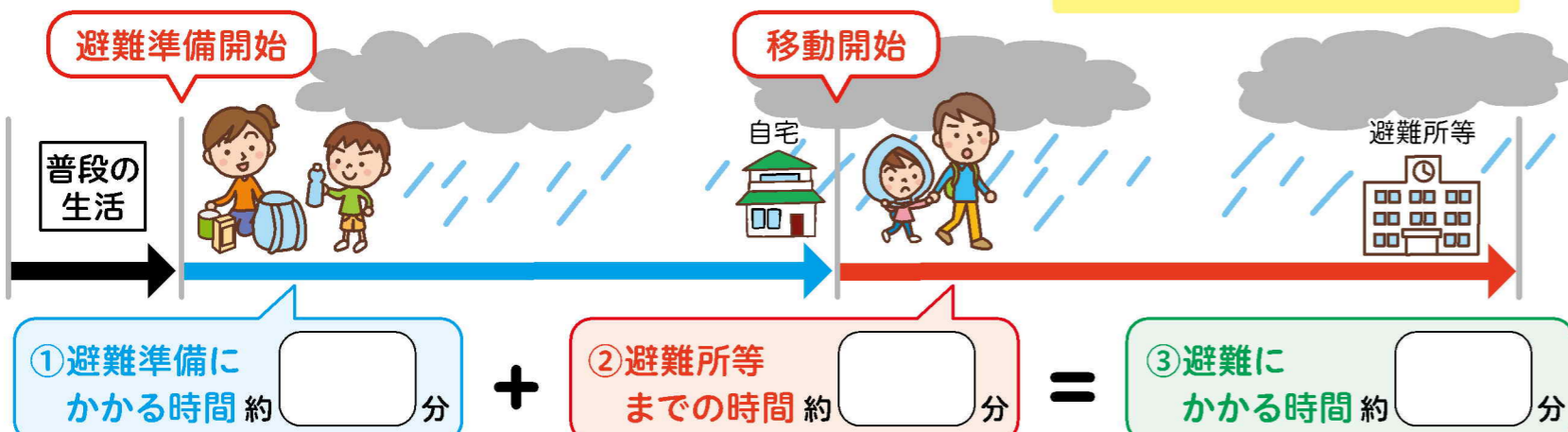
警戒レベル4

の避難情報が出たら、**町が開設した避難場所**に避難してください。
※町からの情報に注意しましょう。

避難のタイミングを考えましょう

避難にかかる時間を計算して、避難行動を開始するタイミングを考えましょう。

500m歩くのにかかる時間(目安)
大人:約6~8分 高齢者:約10分



避難のポイント(全般)

非常持出品は最小限に!

非常持出品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
身軽に行動できるように持出品は最小限にしましょう。



自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!

特に高齢者や子どもは、事前に防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。



外出中の家族には連絡メモを残そう!

避難前にはガスの元栓やブレーカーを切り、外出中の家族に「〇〇へ避難する」といったような連絡メモを残しておくといいでしょう。



集団で助け合おう!

単独での行動は避け、できるだけ近所の人たちと集団で避難場所へ避難しましょう。
避難は、家族、隣近所、地域みんなで助け合いましょう。



緊急車両の通行を妨げないように

緊急車両の通行の妨げにならないよう、徒歩や車の乗り合わせて避難しましょう。



避難所では係の人の指示に従いましょう!

避難所に着いたら、住所、氏名を報告し、係の人の指示に従いましょう。



避難のポイント(要配慮者への配慮)

高齢者や障がいをお持ちの方など、災害時において特に配慮を要する方々は、災害発生時において地域の皆さんの支援が必要となります。日頃より、地域で話し合いを進め、災害発生時の安否確認の実施、避難場所までの移動支援、また、避難生活となった場合に特段の配慮を行いましょう。

高齢者・病人

・おんぶ(または担架、リアカーなど)を利用して安全な場所まで避難する。
・複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

・声をかけ、情報を伝える。
・誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持って、半歩手前をゆっくり歩く。



車いすを利用している方

・階段では介助者2人以上が必要。
・上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
・介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おんぶして避難する。



耳の不自由な方

・話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
・手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



屋内安全確保(在宅避難)の注意点

今後の防災情報に注意しましょう。

身の危険を感じた場合は避難しましょう。

ライフラインが停止した場合を想定しておきましょう。

住む場所が安全だったとしても、ライフラインが停止している場合があります。屋内安全確保(在宅避難)をする場合は、数日間(最低3日)の備蓄品などを準備しておきましょう。

電気

水道

ガス

早い

ライフラインが復旧するまでの目安

遅い

電気・ガスが止まった!

・電化製品が使えない。
・明かりがつかない。
・ガスが使えない。

▶ 卓上コンロやLEDランタンを準備!

水道が止まった!

・水道、トイレが使えない。

▶ 簡易トイレの準備!

車中泊避難の注意点

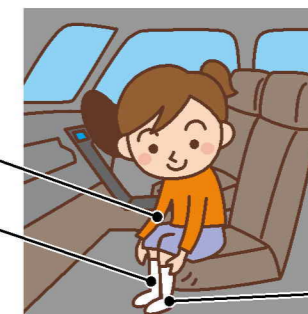
車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコンの完備、ラジオ・テレビからの情報収集などの利点があります。その一方で、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒など健康上の危険にも十分注意する必要があります。

一酸化炭素中毒に注意

・こまめな換気をしましょう。
・長時間のアイドリングを避けましょう。
・他の車の排ガスを取り込まないように車と車の距離を保ちましょう。

エコノミークラス症候群を防ごう

・長時間、車内で同じ姿勢であることを避ける。
・ゆったりした服装で過ごす。ベルトもきつく締めない。
・血流を改善する弾性ストッキングをはく。
・眠るときは、足をあげるか、できるだけ体を水平にする。



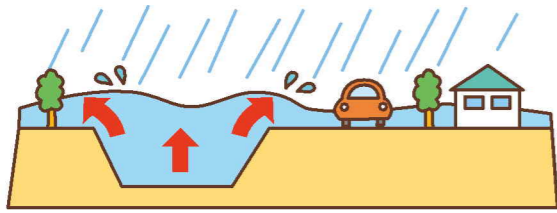
・適度に水分をとる。(アルコールは不可)

・ときどき車外に出て歩いたり、体操したりして体を動かす。

・かかたを動かしたり、ふくらはぎをマッサージしたりする。

氾濫の種類

外水氾濫



大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が壊れたり(決壊、破堤)することがあります。このようなことが原因で生じる氾濫のことを「外水氾濫」といいます。

内水氾濫



平地に降った雨は、水路などを通じて河川に放出されます。しかし、ゲリラ豪雨のような雨が降ると、水路の排水能力が追いつかなかったり、河川の水位が上昇して排出できないことがあります。このように、地域に降った雨が河川にたどり着く前にあふれる状態のことを「内水氾濫」といいます。

雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある降り方	
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる		特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報を確認し、早めに避難行動をとってください。	
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる			

※今いる場所で雨が降ってなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

河川の水位

水位観測所	浦川 (長洲町長洲)	菜切川 (荒尾市狐屋)	行末川 (長洲町腹赤)	
堤防	氾濫危険水位	3.92m	3.49m	2.93m
	避難判断水位	3.63m	2.20m	2.58m
	氾濫注意水位	3.31m	2.20m	2.58m
	水防団待機水位	3.26m	1.06m	2.07m
	ふだんの水位			

危機管理型水位計(宮崎川)



水面から堤防までの高さを確認できます。(平常時は1日1回のみ)

避難のポイント(洪水)

運動靴で避難



長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも危険です。**運動靴をはきましょう。**

これは危険!



大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。



たれ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。

移動するときの注意点



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも**道路の真ん中**を杖でつきながら慎重に歩きましょう。



橋を渡らないようにしましょう。

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

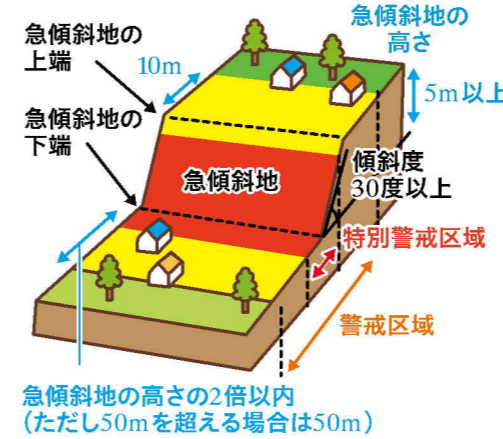
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、**危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。**

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、**特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。**

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



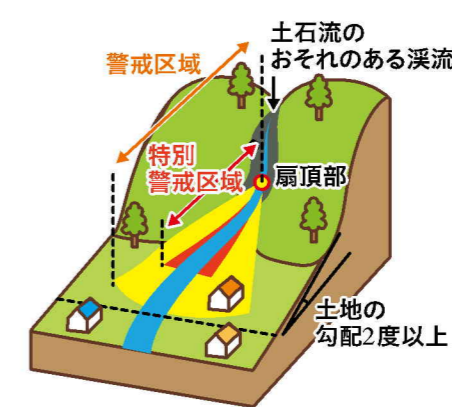
急傾斜地の高さの2倍以内(ただし50mを超える場合は50m)

前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

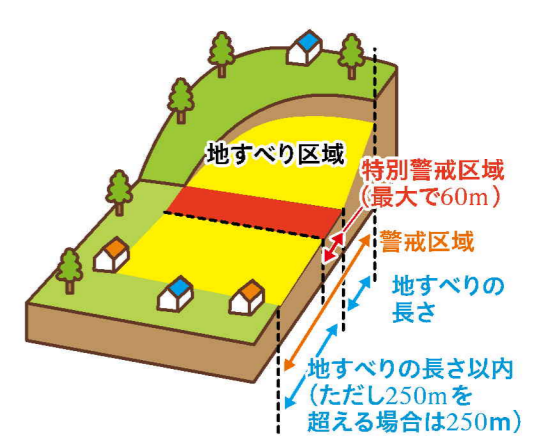


前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す

土砂災害警戒情報【警戒レベル4相当情報】

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)の発表中に、土砂災害発生危険度が高まったとき、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表する情報です。

土砂災害警戒情報は、町長が避難指示を発令する際の判断材料となる重要な情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、すぐに避難してください。

また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあります。その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意し、身の危険を感じたらすぐに避難してください。



防災情報くまもと

避難のポイント(土砂災害)

がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところではがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



土石流のおそれがある場合

溪流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。



屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン、レッドゾーン)をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。

高潮発生仕組みと被害を受けやすい場所

①気圧低下による海面の吸い上げ

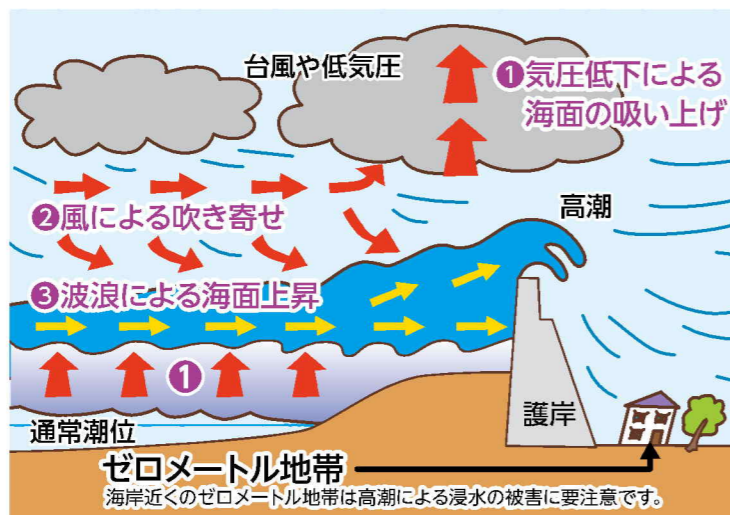
台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げる結果、海面が上昇します。

②風による岸への吹き寄せ

台風による強い風が海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が異常に上昇します。

③波浪による海面上昇

大きな波が海岸に向かって絶え間なく押し寄せると、沖に急速に戻る事ができず、岸に近い場所に多量の海水がたまるようになり、海面が上昇します。波が大きいほど、海面の上昇も大きくなります。



- 湾の奥**
押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。
- 河口のまわり**
高潮の被害と河川の氾濫など、危険が重なる。
- 急に深くなる海底地形**
押し寄せた波が海岸の近くで一気にかかる。

避難のポイント(高潮)

気象情報に注意

台風接近の数日前から、気象情報や町からの防災情報に注意しましょう。



海沿いへ様子を見に行かない

高波にのみ込まれるおそれがあります。



早めの避難

屋間に台風の強風域が近づいている場合や、夜間から明け方にかけて台風の強風域が最接近すると予想される場合は、町から早めの避難を呼びかけます。



ひとまず丈夫な高い建物などに避難

水深が膝の高さを超えたら、大人でも歩くのが困難になります。ひとまず近くの丈夫な高い建物などに避難しましょう。

津波の特徴

ジェット機並みの速さ

津波の速さは海が深いほど速く、津波が見えてからでは逃げ切ることができません。



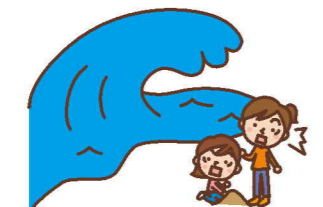
想像以上の高さ

津波の高さは海岸の地形等で変わります。東日本大震災では、想像以上の高さの津波が発生しました。



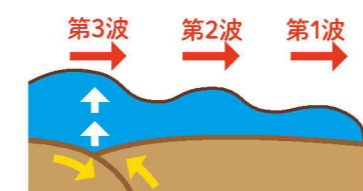
予兆もなく襲ってくる

必ずしも、津波の前に引き潮(予兆)があるとは限りません。



津波は繰り返す

津波は繰り返すので、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないでください。



避難のポイント(津波)

小さな揺れでも油断禁物!

小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が襲来することがあります。



海岸や川には近づかない!

海岸はもちろん、津波は陸地よりも先に川をさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず避難しましょう。



高い場所へ避難

海岸から「より遠くへ」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



率先避難者になりましょう

率先避難とは「緊急時に周囲へ避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難すること」を言います。率先避難者になることで、それを見ている周囲の人に避難行動を取らせるきっかけになります。



! 地震はいつどこで起きるかわかりません。大きな揺れを感じたり、身の回りに危険を感じたりしたら、迷わず行動してください!

地震の揺れと想定される被害

- 震度 5弱**
 - 恐怖感を覚え、物につかまりたいと感じる。
 - 棚にある食器類や本などが落ちることがある。
 - 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
 - 震度 5強**
 - 物につかまらなさと歩くことが難しい。
 - 棚にある食器類や本など、落ちるものが増える。
 - 補強されていないブロック塀が崩れることがある。
 - 震度 6弱**
 - 立っていることが困難になる。
 - 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
 - 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
 - 耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。
 - 震度 6強**
 - はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
 - 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
 - 耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが増える。
 - 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。
- ※出典:気象庁「気象庁震度階級の解説」

避難のポイント(地震)

まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。
- 家具やガラス面から離れる。

緊急地震速報

地震発生後、大きな揺れが来る数秒~数十秒前にテレビ・ラジオ・携帯電話などに警報を発表するシステムです。震源に近い地域は、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。



地震発生

こんなときは

人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い、落ち着いて行動。

山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意。

路上にいた!

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

注意 ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。

車を運転していた!

徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に待つ。
注意 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。

エレベーターの中にいた!

すべての階のボタンを押して、停止した階で降りる。
注意 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。

発生から1~2分

揺れがおさまったらまず火の始末

- 火元を確認する。
- 靴をはく。
- 家族の安全を確認する。
- 脱出口を確認する。

発生から3分

隣近所の安全確認・火災の発生を防ぐ

- 余震に注意。
- 電気のスイッチは触らない。
- 火をつけない。
- 非常持出品を用意する。
- 隣近所に声をかける。
- 近所に火が出ていたら初期消火。

発生から5分

ラジオなどで正しい情報入手

- 正しい情報入手。
- 不要不急の電話は避け緊急連絡を優先。
- ブレーカーを落とす。
- エレベーターは使わない。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。(なるべく車は使わない)

発生から10分~

協力して消火・救出・救護活動

- 壊れた家には入らない。
- 救助活動は一人ではなく複数で行う。
- 水・食料は蓄えているもので。
- デマ情報にまどわされない。



災害が発生または発生するおそれ

まずは!

●自主避難所
第一に開設する施設で、自主避難時にも開設します。

●指定緊急避難場所
災害発生時に一時的に安全を確保するための施設です。

●津波避難ビル
津波発生時に一時的に安全を確保するための施設です。

一定期間の避難生活が必要な場合

●指定避難所
自宅へ戻れなくなった被災者などが一定期間避難生活を送るための施設です。

●福祉避難所
福祉避難場所は、一般的な避難所生活が困難な要配慮者(高齢者や障がいをお持ちの方など)を受け入れるための施設です。

※避難所は、災害の状況に応じて順次開設していきます。開設した避難所は、防災行政無線や町ホームページなどでお知らせします。

指定緊急避難場所・自主避難所・指定避難所

校区	No	名称	住所	災害種別(○:使用可能、×:使用不可)			自主避難所	指定避難所	備考
				風水害	地震	高潮・津波			
長洲・清里	1	町民研修センター	大字長洲1443	○	○	×	●	○	
	2	中央公民館	大字長洲2772-2	○	○	×	●	○	
	3	長洲小学校	大字長洲1776	○	○	○		○	津波の場合3階以上
	4	長洲小学校校庭	大字長洲1776	×	○	×			
	5	清里小学校	大字高浜1250	○	○	○	●	○	体育館含む
	6	清里小学校校庭	大字高浜1250	×	○	○			
	7	長洲中学校	大字長洲805-1	○	○	○		○	津波の場合3階以上
	8	長洲中学校校庭	大字長洲805-1	×	○	×			
	9	中央公園	大字長洲1440付近	×	○	×			
	10	中道児童公園	大字長洲2773-9付近	×	○	×			
	11	清里児童公園	大字高浜1386付近	×	○	×			
	12	梅田児童公園	大字梅田415-1付近	×	○	×			
六栄	13	地域福祉センター	大字宮野999	○	○	○	●	○	
	14	六栄小学校	大字宮野957-1	○	○	○		○	体育館含む
	15	六栄小学校校庭	大字宮野957-1	×	○	○			
	16	六栄緑地公園	大字宮野1716-1付近	×	○	○			
	17	宮崎児童公園	大字宮野771付近	×	○	○			
	18	向野児童公園	大字宮野356-1付近	×	○	○			
	19	古城東児童公園	大字宮野1292-8付近	×	○	○			
	20	古城西児童公園	大字宮野1276付近	×	○	○			
	21	古城公園	大字折崎213付近	×	○	○			
	22	笹ヶ浦公園	大字宮野1769-2付近	×	○	○			
	23	一先宮公園	大字永塩643-2付近	×	○	○			
腹赤	24	長洲こどもの海保育園	大字腹赤70	○	○	○	●	○	
	25	腹赤小学校	大字腹赤125	○	○	○		○	体育館含む
	26	腹赤小学校校庭	大字腹赤125	×	○	○			
	27	腹赤中学校	大字腹赤732	○	○	○		○	体育館含む
	28	腹赤中学校校庭	大字腹赤732	×	○	○			
	29	上沖洲児童公園	大字上沖洲288-1付近	×	○	×			
	30	清源寺児童公園	大字清源寺2744付近	×	○	×			
	31	腹赤児童公園	大字腹赤899-1付近	×	○	×			

福祉避難所

校区	No	名称	住所
長洲	1	グループホーム せいわながすの里	大字長洲2990-2
	2	小規模多機能ホーム せいわながすの里	大字長洲2990-2
	3	デイサービスセンター心の花	大字長洲2339-1
六栄	4	有明成仁病院	大字宮野2775
	5	デイサービス ハルコスモス	大字宮野2775
	6	コスモス通所リハビリテーション	大字宮野2775
腹赤	7	老人保健施設 聖ルカ苑	大字宮野2772-10
	8	グループホーム グリーンライフヴィラ	大字宮野2772-18
	9	特別養護老人ホーム 月華苑	大字清源寺1060
	10	デイサービスセンター 月華苑	大字清源寺1060
	11	小規模多機能型居宅介護事業所 花しのぶ	大字清源寺1060

津波避難ビル

校区	No	名称	住所
長洲	1	ビジネスインうめさき(3階以上)	大字長洲2878-6
腹赤	2	清源寮	大字清源寺1735

避難所生活の心得

① ゴミのマナー
原則として、ゴミは各自で持ち帰ることになっています。また、長期の避難生活になった場合は、ゴミの分別に協力しましょう。

② 時間のマナー
避難所では夜間に消灯時間などを設けることがあります。時間のマナーを守って、休めるときにゆっくり休みましょう。

③ 出入りのマナー
避難所を出入りするときは、避難所担当者へお知らせください。不審者等の出入りを防ぐ効果があります。また、避難所を退去して自宅等に戻られる際も同じです。

※その他、感染症対策等の公衆衛生マナーにご協力ください。

災害用伝言サービス ☎

災害用伝言ダイヤル「171」の使い方

- 「171」をダイヤルする。携帯電話や公衆電話でもOK。
- 録音は「1」を、再生は「2」をダイヤルする。
- 録音は「自分の電話番号」、再生は「相手の番号」をダイヤルする。
- 音声ガイダンスにしたがって、伝言を録音または再生する。

録音 する電話番号
(固定・IP・携帯全ての電話番号が登録可)

災害用伝言板(web171)の使い方

- インターネットから災害用伝言(web171)にアクセスする。
- 伝言を登録する時も確認するときも「登録者の電話番号」を入力する。
- 登録は伝言を入力し「登録」を押す。確認は登録済みの伝言を閲覧する。
- 伝言に返信するときは、必要事項を記載し「伝言の登録」をクリックする。


録音 する電話番号
(固定・IP・携帯全ての電話番号が登録可)

災害用伝言板(携帯電話・スマートフォン)の使い方


- 公式メニューや専用アプリから「災害用伝言板」にアクセスする。
- 登録は「登録」を、確認は「確認」を選択する。
- 登録は「状態・コメント」を、確認は「相手の電話番号」を入力する。
- 「登録」を押して完了する。確認は登録済みの伝言を閲覧する。

※スマートフォンの場合、機種によっては専用アプリからのみアクセスできます。あらかじめダウンロードしておきましょう。


NTTドコモ



ソフトバンク



au



※あらかじめ伝言を伝えたい方の連絡先を設定すると、実際に伝言を登録した際に、その通知先へ伝言内容をメールまたは電話で通知することができます。

ポケットの中には、
全域版ハザードマップ(両面)
校区版ハザードマップ(片面)
の大判マップ2種類が入っています。



その他、防災に関する資料などの保管にこのポケットをご活用ください。

いざというときの連絡先 ☎ ●長洲町役場(災害対策本部) … 0968-78-3104

- 火災・救急は … 119
- 事故・事件は … 110
- 海上での事故・事件は … 118
- 荒尾警察署 …… 0968-68-5110
- 荒尾消防署 …… 0968-63-1121
- 長洲交番 …… 0968-78-0110
- 荒尾消防署長洲分署 … 0968-78-0145
- 腹赤駐在所 …… 0968-78-5312
- 熊本県河川課 …… 096-333-2506